

# 本会議における 議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ20名の議員が質疑を行いました。

【インターネット録画放送】

川越市議会ホームページで  
ご覧になれます。

【今定例会の会議録】

議会ホームページ、  
または図書館等で  
11月下旬頃から閲覧できます。

会議録の閲覧等

【閲覧場所】

図書館／市民センター／議会事  
務局／情報公開窓口（東庁舎）

## 議案第79号

### 平成29年度一般会計歳入歳出決算認定

【やまぶき会】（自由民主党）【政晴会】  
【公明党】（市民フォーラム）（日本共産党）

**円単年度収支が前年度の赤字から黒字に転じた要因は何か。**

億円上回り、差引額である単年度収支が黒字となったものである。

**景気回復の影響等で市税収入が堅調であったことなどの理由により、歳入総額が前年度より26億円余り増加したことが挙げられる。これに対し、歳出総額の増加分は約13億円であったことから、平成29年度実質収支額が平成28年度の金額を約13**

**増加した主な要因は何か。**

【介護給付・訓練等給付が約4億7801万円、保育所等に対する施設型給付費が約3億8523万円、障害児通所支援事業が約1億8860万円増加したことなどによるものである。

増加したことから、平成29年度実質収支額が平成28年度の金額を約13

増加したことなどによるものである。

.....  
**円財政調整基金の今後の見通しは。**

【望ましい】残高を50億円以上としているが、今年度末の残高見込みを踏まえると、その実現は厳しい状況にある。

今後は、財政調整基金に依存しない予算編成に努め、残高の確保に努めていく必要がある。

**円将来に備え積み立てるなど、身の丈に合った財政運営が必要と考えるが**

**市長の見解は。**

【福祉、教育、都市基盤産業、環境、市民生活など、いずれも重要な施策であり、充実に努めたい。ただ、先の世代にも本市の繁栄を引き継ぐためには、貴重な収入の中での施策の充実と、その中から将来に向けて蓄え、持続可能な都市の実現に寄与することも重要である。市民の理解を得ながら、さらに努力したい。

.....  
**円川合市政3期目初年度に編成された予算に対す**

る決算として、市長はどのように評価しているか。

【平成29年度決算は、民生費が平成28年度と同規模、教育費が過去最大となった点が大きな特徴である。民生費では、民間保育所整備を推進し170名の定員増を図り、障害のある人への生活支援事業や西後楽会館耐震補強等工事の設計を実施した。教育費では小学校普通教室空調設備整備を進め、15校に導入し、また、PFI事業として菅間第二学校給食センターの運営を開始した。他にもさまざまな事業があるが、2期8年と同様、現下の課題とともに懸案事項にも積極的に取り組み、新河岸駅周辺地区整備や産業観光館昭和蔵改修事業などで一定の成果が得られたと考えている。

.....  
**円財政運営の結果に対して市長の見解を伺う。**

【公債費や市債残高が増加傾向であり、これまでに以上に投資的経費の規模

.....

の適正化も含め、計画的な市債の活用にも努める必要がある。基金は、将来にわたる健全な財政運営を担保するため、計画的な積み立てを行いたい。

**円職員の見解を伺う。**

【通知表の電子化による印刷製本費の縮減、委託の一部を職員が実施したことによる委託料の縮減、国保税収納率向上等による特別会計繰出金の縮減である。

**円産業観光館昭和蔵改修事業による効果を伺う。**

【テレビ、雑誌、新聞等で広く取り上げられ、産業観光館の知名度向上に貢献した。明治蔵と大正蔵の売り上げおよび利用人数も前年より増加した。

.....  
**円市職員の採用に当たり、障害者雇用に向けた市の考えについて伺う。**

【川越市障害者支援計画において、市職員の障害者雇用率の目標値を平成32年度末までに2・9%としていることから、今

.....  
**円平成29年度の市民のくらしは、どうだったか。**

.....

【国で言われているほどの経済の成長軌道を実感できない状況にあるのではないかと認識している。一方、平成29年度の個人市民税は前年度に比べ増収となっている。また、保育所等の待機児童数は増減を繰り返しており、

.....  
**円平成29年度の市民のくらしは、どうだったか。**

.....

.....  
**円平成29年度の市民のくらしは、どうだったか。**

.....

.....  
**円市民から多くの要望が出されている生活道路整備に対する市の考え方は。**

.....

.....  
**円安全安心な道路環境の実現のため、多くの児童生徒が利用する通学路、交通量が多く狭あいですれ違い困難な多くの住宅が面した道路や危険箇所などは優先度が高い。大部分の整備が進んでいる路線も未整備区間の整備で効果を発揮することから優先度が高いと考える。**

.....